

「街のフリンジ」の記憶

雨宮 克也

三井不動産㈱開発企画部 環境創造グループ長

私に物心がつき、「街」という外部環境を意識できるようになったのは3歳になる少し前、家族で都心から郊外のニュータウンに移り住んでからだ。時代は高度成長期、公団型中層集合住宅と整然と街割りされた戸建街区を中心に計画されたその街は、人生双六よろしく、郊外のマイホームを実現する羨望の的だった。父は保留地分譲のくじ引きに当選してそれまで縁も所縁もないその土地に移り住むことを決めたのだ。

私は初めてその街に降り立ったときのことを鮮明に覚えている。駅前ロータリーと放射線状の街路計画、メインストリートのけやき並木は新緑を揺らし緩やかな下り坂で延びていた。街区は緑豊かな集合住宅が整然と配され、まるでウルトラ警備隊の近未来都市に迷い込んだような高揚感を感じたのだった。

私の家は戸建街区内にあった。幼稚園までの道のりは整然とした住宅地内の6m道路と幹線道路を歩いて集団通園した。帰宅後は同じく新住民（開発団地に移住してきた住民、の意。）の友達と家の庭や近くの公園、あるいはところどころに残る生産緑地に入り込んで遊んだ。ピアノ教室も書道教室もすぐ近所、同じ住宅地内だ。開発地全体は、電車の駅で三駅分の線路と県道で囲まれた概ね200haほど。その中が子供の頃の私のメインフィールドだった。そこは私の日常の場であり、いわばホームであった。

小学校にあがるとニュータウン内の同じ学校に通う開発地外の子供たちと必然的に仲良くなる。自転車のお陰で行動範囲は格段に広がった。開発地の外、今は自然公園として整備された一帯は当時まだ広大な谷戸だった。そこが彼らのホーム。水田が一面に広がり、畦道と用水路を渡り歩きながらのザリガニつりやカエル捕りのメッカだ。私たちがそこに入る時には必ず彼らと一緒に。新住民だけではその地に入らないのが暗黙のルール。そんな社会の微妙も学んだ。友人の家に遊びに行き、土間のある台所、外焚きの薪風呂などを初めて見た。祖父母と一緒に住み、親戚が隣同士という住居環境にも驚いた。ドッチボールや缶けりのルール、ジャンケンの掛け声までも違っていた。

前述のとおり開発地と非開発地とは電車の線路と県道により明確に区切られていた。その線は線路と道路という物理的な分断線であるとともに、道路や公園、上下水道、都市ガス等、面的なインフラの整備状況の違いの境界線として誰の目にも一目瞭然だった。しかしそれは決して開発と非開発を対立的に区切る線ではなかった。開発と非開発の善悪を問うような次元の低いものでもない。今、それを私は「街のフリンジ」と勝手に呼んでいる。子供の頃の私がフリンジのエリアに足を踏み入れること、それは日常から非日常への冒険だった。

そこはアウェーではあったが敵地ではない。日常に戻る安心を確保したまま非日常での戸惑いと興奮を感じる素敵な体験のゾーン、それが私にとっての街のフリンジだった。

子供の頃の私は土木計画とか都市計画という言葉をもろろ知らない。しかし人が自然に働きかけて創り出すさまざまな開発によって、自分を囲む世界（つまり人が生きるためのインフラ、街というもの。）が創られていることを肌感覚で知った。それは街と街のフリンジを行き来する実体験で感じ得た、理屈を超えた観念的なものだ。

私は今、大人になって幸せなことに街づくりにかかわる仕事をしている。そして自分に対して、自分が子供の頃感じたような人への働きのある仕事が先人たちのようにできているかを問うている。成長期を経て成熟期をむかえた日本。これからの日本が必要とする広義の開発とは…？そんな大それたことを考えるときに、私は子供の頃の記憶、「街のフリンジ」を今一度思いおこしている。

街の開発には結果として街のフリンジが生まれる。そこには開発前のその土地の生活や文化が残つつ開発地とともに新たな域圏を形成していく。やがて時代は変遷し、以前とは違った域圏で新たな開発の要請が生まれてくる。そしてその開発によりこれもまた以前と質も内容も異なる街のフリンジが形成される。そしてまた次の時代へ…。開発される街と街のフリンジは正のスパイラルを形作る。それにより国土利用の価値は高められていくのだ。

すなわち街のフリンジとは、過去の人々の努力のうえに今があることの確認とリスペクトの場である。そして同時に私たちが将来の人々のために今を変え、経験と技術力を蓄積していく義務を再確認する場でもある。街づくりの仕事とは、常に国土とそこにある人の営みに向き合い、今に力を発揮することにより将来の恩恵に継続性を委ねるものである。まさに、「国土への働きかけをしなければ恵みを受け取ることはできない。（大石久和氏、(財)国土技術センター理事長の言葉から引用。）」、である。

開発される街と街のフリンジの正のスパイラル。そのようなイメージを心において、私は「今」の自分の仕事に取り組んでいきたいと思う。

ミャンマーの最近の状況

松尾 伸之

日本コンサルタンツ

私は JICA の技術協力プロジェクトで、保線作業の指導をヤンゴン近郊で行っています。ミャンマーは、2011 年の民政移管後、社会経済が急激に変わり、インフラの分野でも大きな変化がおきています。また、今年の 11 月に総選挙を控えており、不安定要素はあるものの海外からの投資が大幅に伸びており、今後、アジアの中でも大きく発展する国のひとつです。そこで、私からミャンマーの昨今の状況について報告します。

1. 現在、雨季真最中

ミャンマーは、国土が南北に長い国です。地域によって季節が異なりますが、ヤンゴンでは、季節が Hot Season, Cold Season, Rainy Season の 3 つに分かれます。Hot season は、3 月から 5 月にかけての季節で、最高気温が 40 度を越えます。Cold Season は、Cold といっても 30 度ぐらいで、11 月～2 月頃であり、1 年の中では最も過ごしやすく、観光客も多く訪れる季節です。現在は Rainy Season です。1 年のうち半年近くが雨季で、突然のスコールや雷が毎日のようにあり、傘やレインコートは必需品です。

2. 7 月末に発生した大洪水

7 月下旬から 8 月にかけて、ミャンマー西部と北部がサイクロンに見舞われました。これにより、河川が氾濫し、多くの住民が仮移転を余儀なくされています。現在でも、ミャンマー各地で募金活動が続けられ、日本企業や各種の財団等からの支援も届いています。

そもそも、ミャンマーには、しっかりとした堤防や防災設備はほとんどなく、一度、川が氾濫すれば、水が引くまで待つしかないといった状況です。ヤンゴンのような大都市でも、大雨が降ると道路が冠水するので、インフラの整備と防災対策は、緊急の課題です。



マンダレーの丘の上から撮ったエーヤワディー川の

3 年前 (左) と今年の 8 月 (右)

3. ミャンマーの物価

ミャンマーでは、日給 3,600 チャット（≒340 円）という最低賃金法が制定され、9 月 1 日から適用されました。（ちなみに、昨年の東京の最低時給が 888 円です。）ミャンマーの賃金は、周辺の東南アジア諸国と比べても低く、周辺諸国がミャンマーへ進出してくる理由の 1 つです。最近では、**Made in Myanmar** の衣服等を日本でも見かけるようになりました。

ミャンマーの生活必需品の物価は、極めて安いです。しかし、不動産関係の価格は、日本とあまり変わりません。ヤンゴンの一等地は、六本木ヒルズとほぼ同じと言われています。日本人でも買うことができないような不動産を、ミャンマーの実業家が買うのを見ると、貧富の差が大きいことを実感します。

4. 最新の鉄道の状況

読んでいただいている方は、鉄道関係の方が多いと思いますので、ミャンマーの鉄道の状況について紹介します。日本からの中古のディーゼルカー（ミャンマーでは **RBE: Rail Bus Engine** と呼んでいます。）が次々と輸入され、営業運転を開始しています。また、日本人技術者による車両のメンテナンス支援も行われています。

10 月下旬に、ヤンゴンで路面電車が走行開始の予定です。このプロジェクトは、今後の電化への移行の最初ステップになると考えられています。現在、電柱や変電所の設置等を行っており、急ピッチで工事を進めています。



営業運転予定の広島電鉄からの路面電車
(貨物駅で留置中)



電柱建植直前の状況

ミャンマーの最近の状況について、いくつか紹介しました。私自身、ミャンマーの仕事を担当するまでは、ミャンマーと言えば、「ビルマの豎琴」くらいしか思いつきませんでした。現在はヤンゴンの生活にも慣れ、市内ならば地図がなくても出かけられるようになりました。11 月になると、ミャンマーは観光に良い気候となります。出張、旅行等でミャンマーへ来る機会があれば、ご一報ください。 matsuo@jictransport.co.jp

事業団と街づくり

中島將文

ユニオン建設(株)

(元日本国有鉄道清算事業団)

国鉄改革から年月がたち、清算事業団のことを知る人も少なくなってきたと思われるので、その事績を紹介しておこうと思う。

日本国有鉄道清算事業団は、旧国鉄の債務償還を主たる目的に、昭和62年4月に発足した。事業団は全体で25.5兆円の債務を承継したが、「JRの事業用に使用する土地以外の土地」の処分により、7.7兆円の土地売却収入が計画された。

しかし、引き継がれた土地は、直ちに処分・売却できるわけでは無い。まず、JR及び民意との境界画定、第三者占有の排除〔国鉄時代の、用地管理が不十分〕、貸付地の返還、導水路の付け替え、等々の処理、また鉄道整備工事（国鉄の不用となった設備の撤去、用地を生み出すためのJR設備の移転集約工事）に多大の労力と時間を要した。これらを行った後、権利関係のない更地を登記して初めて処分・売却可能となる。また都市部の大規模用地の汐留地区、大宮地区等は都市開発上の重要な資産であり、行政等と土地利用に関する計画策定（街づくりに向けて、街路計画、土地利用計画策定、及びそのための開発手法等）のための委員会（委員長：都市計画の専門家、地元自治体、建設省、JR、事業団等）を設置し検討を行った。

事業団発足以来、約30年の月日が流れた。全国で約9200haあった土地の処分はほとんど終了した。首都圏の、汐留、品川、大宮（操車場）、秋葉原、武蔵野（操）、新鶴見（操）、高島（MM21地区）等の大規模用地においては都市計画に基づき街路・街区の整備とともに、都市開発・街づくりが行われ、また現在も開発が進められている。

一方、中小規模の事業団用地も様々な協議を重ね、商品化を行い、様々な処分（公開入札が基本ではあるが、公共施設への随意契約、事業団自らが集合住宅、戸建て住宅を建設売却等）を行った。中でも北海道の土地は廃線敷、防雪林敷地等規模は大きいが利用が困難な土地が大多数であったが、自治体への随意契約（道路敷等）や、個人への公募売却（関東や、関西の個人が北海道の土地を所有するというロマン？）により4800haが処分済みである。

土地の処分もほぼ終了し、事業団発足当初、約2500人在職した職員もわずかな人数になり（新規採用はなし）事業団（現在は鉄道運輸機構に一部清算業務が残っている）の使命も終わろうとしている。

事業団の土地処分を通じて、都市開発・街づくりにいささかなりとも貢献できたのではないかと思われる。

NEWS

■最近の気になるニュース

岩井有人さん（JR東日本東京工事事務所）の Facebook 「今朝の気になる記事」 より

① カシオペアも廃止（09.15）

寝台特急「北斗星」に続き、JR東日本とJR北海道は2016年3月に北海道新幹線が開業するに伴い、上野～札幌間を走る寝台特急「カシオペア」の廃止を発表。青函トンネルを利用する寝台特急はすべて姿を消すことになる。

② 鉄道車両は英で育てる（09.04）

日立製作所が鉄道車両の海外生産を始める。英国に150億円投じて車両工場を建設し11月から稼働。新幹線で培ってきたものづくり職人技などを現地に導入。英国から世界に打って出て、独シーメンスなど世界3強を追う。

（09.06）日立製作所は買収手続きを進めているイタリア鉄道車両大手の工場日立ブランドの車両や部品の生産に乗り出す。日本と英国の工場に余裕がないため。

③ 芸術祭、地域活力に（08.31）

越後妻有、瀬戸内・・・100以上に。新潟県の山間地が舞台の「大地の芸術祭」。3年に1度のアートによる町おこしとして知られ来客数は増加。同様の取組みは広がり、瀬戸内国際芸術祭は来年に向け食との連携など新たな仕掛けを練る。観光客の増加と移住者も。

■シビルNPO連携プラットフォーム（CNCNP）が会報第17号を発行

◇巻頭言 「悲観論」抑え、「明るい建設産業」を信じ・・・

（株）日刊建設通信新聞社 取締役副社長 和田 恵

◇コラム CNCNP通信における「コラム」について考える

（特非）温故創新の会 事務局長 大野博久

◇トピックス 災害とシビルNPO：3つの活動に参加して

CNCNP 常務理事 有岡正樹

◇会員紹介

・特定非営利活動法人 あそ地下足袋倶楽部

現場での“超・一流の脇役”の“土方（土木職人）”の育成を夢見て

◇部門活動紹介（事業化推進部門）

・事業化推進部門活動1年半を振り返って

◇会員からの投稿 「災害情報の交通整理」

（株）ケイズプラン 代表取締役 小松崎暁子

◇イベントのご案内

・シビルNPOの現状と今後を考えるラウンドテーブルミーティングin仙台

平成27年11月18日（水）13:00～16:00 エルパーク仙台

・平成27年度通常総会ならびに記念行事のご案内

平成27年10月31日（土）総会14:00～

講演会：田中滋夫15:30～（まちづくりと中間支援組織） 懇親会17:00～

*問い合わせや申し込みはNPO連携プラットフォーム事務局まで

E-Mail info@npo-cnep.org ホームページURL : http://npo-cnep.org/

今月の国際比較データ

① おもな国の民間航空輸送量（定期輸送）（国際線と国内線の合計）

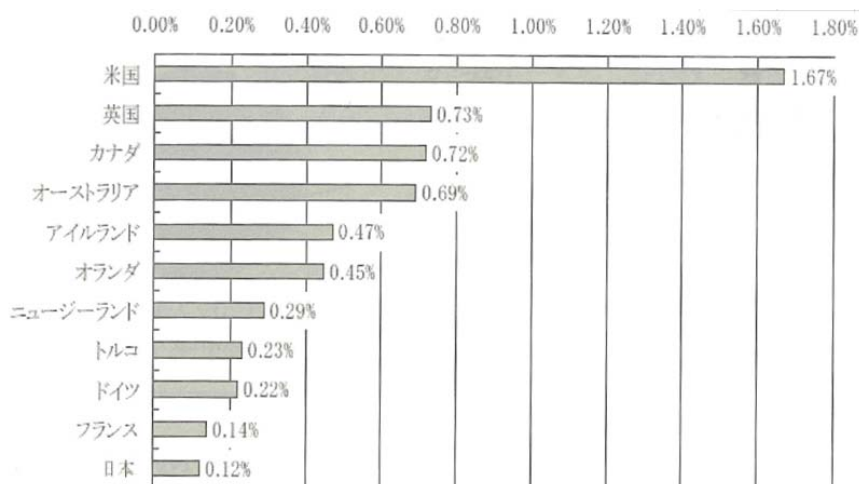
出典：表とグラフでみる日本のすがた 2014

	旅客輸送 (億人キロ)			貨物輸送 (百万トンキロ)		
	2011	2012*	2012* (%)	2011	2012*	2012* (%)
アメリカ合衆国	13 105	13 248	24.5	39 630	39 104	21.4
中国 ¹⁾	4 512	5 003	9.3	16 765	15 569	8.5
イギリス	2 432	2 516	4.7	6 338	6 251	3.4
アラブ首長国連邦	2 083	2 461	4.6	10 416	11 898	6.5
ドイツ	2 200	2 189	4.1	7 724	7 241	4.0
フランス	1 625	1 662	3.1	4 950	4 554	2.5
ロシア	1 268	1 509	2.8	3 900	4 132	2.3
日本	1 226	1 381	2.6	6 556	7 036	3.9
オーストラリア	1 323	1 357	2.5	2 847	2 731	1.5
カナダ	1 237	1 279	2.4	2 034	1 966	1.1
シンガポール	1 025	1 115	2.1	7 918	7 507	4.1
世界合計	51 497	54 018	100.0	184 532	182 429	100.0

国際民間航空機関しらべ。国際民間航空機関に加盟する191か国の統計。貨物には郵便物をふくまず。合計にはその他の国をふくむ。*ざんてい値。1) (台湾)、(香港)、(マカオ)をふくまず。

② 各国の個人寄付金額の対名目 GDP 比率（2005 年）

出典：インフラ・まちづくりとシビル NPO



(出所) Charities Aid Foundation「International comparison of charitable giving. (2006年11月)」

図-2.5.3 各国の個人寄付金額の対名目 GDP 比率（2005 年）

③ 防衛費の対 GDP 比

出典：朝日新聞（2015 年 9 月 10 日 朝刊）

提供者：事務局



【防衛費と「1%枠」】

「国内総生産 (GDP=14年度は名目で約 490 兆円) 比で 1%以内」とする事実上の制約がある。1976 年、三木政権が「1%枠」の方針を打ち出し、その後の中曽根政権が枠の撤廃を表明した。だが、予算編成上はその後も GDP 比 1%が象徴的な数字として意識されてきた。主要国では、米国の 3.8%や英国 2.1%、韓国 2.4%など、1%を超える国が多い。

PF書店

●紹介者 大島竜二 (JR東日本構造物設計事務所)

読書といっても、通勤の電車で本を読む程度のライトユーザーで、特にジャンルを問わずに、市内の図書館で借りた本を細々と読んでおります。最近読んだ本の中で、特に印象に残った思うものを紹介させていただきます。

①「オレたちバブル入行組」、「オレたち花のバブル組」(池井戸 潤)

言わずと知れたドラマ「半沢直樹」の原作本です。曲がったことが大嫌いな正義感あふれる銀行員の半沢直樹が銀行内の不正行為を暴露し、裁くというサラリーマン的ヒーロー小説です。ドラマでは、半沢直樹役の堺雅人さんの個性的な演技が目立ちますが、原作では、金融業界の内情がより巧みに描かれており、同期入行組との関わりなど、ドラマとは異なった魅力も描かれております。結末は読んでからのお楽しみではありますが、サラリーマンの身としては、気分がスカッとすること間違いなしです。



②「サウスバウンド (上・下巻)」(奥田 英朗)

表紙のシーサーと沖縄の青い空の絵に惹かれて、思わず手を取った一冊ですが、内容は、表紙のイメージからは想像もつかないようなストーリーです。主人公である二郎という小学生の成長を描いた青春群像劇という感じですが、とにかく、元過激派メンバーである父親の一郎のキャラが際立っています。自分の父親だったとしたら大変だなと思いつつも、読み進めるうちに、こんな父親もありかなと、思わず引き込まれてしまいます。



事務局通信

◇NEWS 蘭に「最近の気になるニュース」と題して掲載を始めました。まち・交通・鉄道に関するもので、小さな、ローカルな話題でも結構ですので情報提供をお願いいたします。

なおFacebookにも、毎月1日に最近の気になるニュースを投稿していきます。

◇国際比較データを毎月掲載しています。多種多様な比較データということもあり皆様に楽しんで頂いていますが、最近、収集ペースが落ち込んでいます。何でも結構ですので、目にされましたら事務局までご一報下さい。

◇1月スタートの「PF書店」と「たすきリレー」、皆さんからの投稿、お待ちしております。

～ ● 今月の写真コーナー ● ～

長野県の木曾にある宿場町を訪れたときのスナップ（撮影：Nikon F3）です。

木曾にはいくつか宿場町があり、私が訪れたのはこじんまりとした宿場町でしたが、おしゃれなお店が多くておすすめの観光スポットです。

また、“朴葉みそ”といえば飛騨高山が有名ですが、こちらで食べた朴葉みそもおいしかったです。



（ジェイアール東日本コンサルタンツ

田中祐二）



プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。
連絡先：未来構想 PF 事務局 土井 携帯:090-9150-8613 メール：info@miraikoso.or.jp
〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28